

令和7年度 武藏村山市農産物品評会 審査講評

審査員：東京都北多摩農業改良普及センター 吉田 滋実
東京都北多摩農業改良普及センター 國金 奈美

本年は例年よりかなり早い梅雨明けの後、7～8月は異常な高温と乾燥が続きました。秋野菜の播種や定植を、思うように行えなかつた方も多いと思います。9月も高温傾向で、短時間の局地的な豪雨が何回かありました。10月には曇天や小雨が多く日照時間が短くなり、中頃からは気温も平年並みとなりました。急な天候の変化で、生育不良や病害虫が発生する等、生産者の皆様におかれましては栽培管理にご苦労が多かったことと思います。このような中で、出品数は近年で最も多く、武藏村山市の生産者の皆様の高い技術力と意欲が感じられました。

一点お願いなのですが、より円滑な審査と、生産者相互の情報交換のため、出品物には品種名を記入していただきますよう、お願いします。

以下に、各部門の講評を述べさせていただきます。

[野菜の部 116点]

【大根 10点】

青首大根の他、赤大根や辛味大根等、多様な出品がありました。特に白くまっすぐで毛穴が浅くて3本の揃いが良い「夏の守」を東京みどり農業協同組合長賞、これに次ぐ「夏の守」と肥大と揃いが良い「辛之助」各1点を銅賞としました。一部の出品物にネグサレセンチュウの被害痕がありましたので、適切な防除をお願いします。

【人参 6点】

人参は播種期の高温乾燥で特に栽培が難しい品目でしたが、良好に肥大したものが多く出品されていました。特に大きさが適度で、揃いの良い「ベーターリッチ」1点を特別賞としました。やや入念に洗いすぎたようなものもあったので、出荷調整はより丁寧に行なうようご注意ください。

【サツマイモ 13点】

肥大良好な出品物が揃っていました。手ごろな大きさで形状も良く揃った「べにはるか」を特別賞、それに次ぐ2点を銅賞としました。コガネムシ類やハリガネムシによる被害痕がやや目立つ出品もあったので、病害虫防除を適切に行ってください。

【里芋 10点、ハツ頭 3点】

里芋は、肥大が良く形状も揃い、調整が丁寧な「土垂」を銅賞としました。切り口が大きな出品が見られましたが、日持ちが悪くなってしまうのでご注意ください。

ハツ頭は大きさや形が良く揃い、特に肥大良好な一点を銀賞に、小ぶりなもの形の良い一点を銅賞としました。

【コカブ 2点】

肥大が良好で、3個の大きさや形状が良く揃った「白馬」を銀賞としました。コカブはカブの部分の美しさ（白い品種であれば、純白であること）が重要です。ただし洗いすぎると日持ちが悪くなるので、調整に留意してください。

【小松菜 13点】

小松菜は武蔵村山市の特産品で、今回多くの出品がありました。いずれも葉色が良好で目立った病虫害がなく、適切な栽培管理がうかがわれました。東京都知事賞とした「はまづき」は特に葉が厚くなめらかで結束・荷姿も特に優れています。これに次ぐ品質の「春のセンバツ」2点をそれぞれ銀賞、銅賞としました。結束が緩い出品がありましたが、荷姿も小松菜の商品性を決める重要な要素なので、より丁寧な出荷調整に留意しましょう。

【ブロッコリー 11点】

出品物はいずれも花蕾の締まりが良く、リーフィー等の生理障害もほとんど見られませんでした。特に花蕾がきれいなドーム型にまとまり、3個の揃いが優れた「おはよう」を銀賞、揃いの良かった1点を銅賞としました。腕が長すぎたり折れたりした出品物もありましたので、適切な調整を心がけてください。

【カリフラワー 7点】

出品物はいずれも白色の品種で、花蕾が緻密でドーム型にまとまっていました。特に白かった1点を銀賞としました。一部、包葉が折れたり長さが不適当なものもありましたので、より適切な調整をしていただくようお願いします。

【キャベツ 7点】

目立った病虫害がなく、大きさの適切なものが出品されていました。いくつか、外葉の処理が不適当なものもありましたので、ご注意ください。特に形が良く3個の揃いが優れた1点を銀賞、「彩音」ともう1点について銅賞としました。

【その他葉菜類 白菜・ネギ 各2点、ホウレン草・春菊 各1点】

いずれも暑さにより栽培が難しかった品目と思われます。白菜は他地域でも結球が遅れ気味でしたが、出品された物は頂部までよく詰まっていました。特に良好に肥大した1点を銅賞としました。ネギも暑さで軟白部が短くなりがちだった上に害虫も多い年でしたが、軟白部が長くまっすぐで、虫害の痕が極めて少なかったので特別賞としました。ホウレン草は葉が十分に厚く調整が優れており、春菊も病虫害が見られない良品だったので、それぞれ銅賞としました。

【キュウリ 3点】

生産の難しい季節に、色艶が良く形状の整ったものが出品されていました。特に均一な太さでまっすぐに育ち、大きさもそろった「エクセレント620」を武蔵村山市農業委員会長賞としました。

【ピーマン 8点】

10月以降の低温で品質の維持が難しい条件であったにもかかわらず、色艶が良く病虫害や傷の無い品でした。大きさや形状が異なる3品種が出品されていた中で、特に色艶や果皮の張りが優れた「京ひかり」を銀賞、濃緑に色づいた「ジャンボピーマン」を銅賞としました。

【落花生 2点】

近年、直売での人気が高まっている品目です。さやが大きく揃いの良い「おおまさり」を銅賞としました。

【トウガラシ 15点】

「ハラペーニヨ、ハバネロ、甘長とうがらし、福耳」と多様な品種が出品されていました。いずれも果皮に傷や病虫害はほとんど見られず、それぞれの品種の特徴が良く表っていました。特に果形や大きさが良く揃い、果皮がつややかな「ハラペーニヨ」を銀賞、「甘長とうがらし」を銅賞としました。

【果実の部 50点】

【ミカン 17点】

当市は都内で珍しいミカンの産地であり、多くの出品がありました。今年は高温傾向の影響で都内の柑橘類は着色が遅れがちでしたが、出品物には良好に着色したもののが多かったです。特に果形が扁平で果皮がなめらかな「宮川早生」を東京都農業振興事務所長賞、次いで優良な「宮川早生」2点を銀賞、「宮川早生」他1点を銅賞としました。

【本ユズ 5点、一才ユズ 4点】

台風の接近が少なかったこともあります、傷が少ない出品が多かったです。しかし高温の期間が長かったため、特に「一才ユズ」は着色が遅れたようです。「本ユズ」のうち、特に果皮がきれいで、肥大が良好でよく揃ったものを銀賞、及び銅賞としました。

【キウイフルーツ 10点】

様々な品種のキウイフルーツが出品されていた中で、大きさや形状がよく揃い、追熟も適切な「東京ゴールド」を銅賞としました。一部に日焼けした果実が見られましたが、近年は夏の高温・乾燥により果実に障害が出やすいので、適切に摘果すると共に、日陰の確保を意識した夏季剪定の実施等で被害を軽減してください。

【柿 6点】

「富有」等が出品されていました。今年は高温傾向が続いたため都内の柿は着色が遅れがちでしたが、出品物の着色は概ね良好でした。肥大が特に優れ、形や大きさの揃いが良い「富有」を特別賞に、品種不明の一点を銅賞としました。カメムシ類の被害痕と思われる凹みのある出品がありましたので、害虫防除や選果に更にご留意願います。

【カリン 1点・レモン 2点・栗 2点・カボス 3点】

カリンはサイズ感の良い出品でしたが果皮に傷が目立ったので、一層丁寧な取扱をお願いします。

レモンは「リスボン」が出品されており、大きさや形状が良く揃った1点を銅賞としました。葉を付けた出品物がありましたが、他の果実を傷つけてしまうので、葉が残らないよう果梗を短く切るようにしてください。

栗は、中栗も含め肥大が良好なものが出品されていたので、銀賞としました。

カボスは耐寒性が高く、当地でも作り易い香酸柑橘類です。緑色が濃く残り、果皮に傷が少ないものを銀賞としました。